

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

## ②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《洋光台ナーサリー》	種別：保育所
代表者氏名：櫻井 麻衣子	定員（利用人数）： 72（61） 名
所在地：横浜市磯子区洋光台5-3-38	
TEL：045-833-5650	ホームページ： <a href="https://www.starchild.jp/nursery/yokodai/">https://www.starchild.jp/nursery/yokodai/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2019年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社	
職員数	常勤職員： 16 名 非常勤職員： 6 名
専門職員	施設長 1 名 保育士 17 名
	栄養士 1 名 調理員 3 名
施設・設備 の概要	（居室数） 保育室6
	（設備等） 園庭、給食室、乳児用・幼児用トイシ、多目的トイシ、沐浴室、調乳室、休憩室事務室兼医務室など

## ③理念・基本方針

【保育理念】子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実施します。

【保育目標・方針】

- (1) 良く考え、心身ともにたくましい子（自立と挑戦を支援します）
- (2) 個性の豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします）
- (3) やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身につけます）

## ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・安心安全の提供（施設・設備・保育スキル・システム・訓練等）。
- ・養護と教育を一体化した保育の提供（子どもたちが安心して元気に毎日を過ごす場の提供）。
- ・自発的に伸びる保育（自発的な行動を実りある成長に結びつけるように保育環境の構築を工夫する）。
- ・肯定的な前向きな言葉かけ（否定語や禁止語は使わない）。
- ・スキンシップとコミュニケーションで伝わる保育。
- ・子どもの保護者に寄り添った施設であること。
- ・おいしく楽しく食べられる食事・食材へのこだわり。
- ・森の中をイメージした施設内、本物の木の感触に触れ五感を刺激する。

- 互いに思いやりを持てる保育、愛されている自覚の持てる保育。
- 規制の自立ができる人へ導く保育。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月17日（契約日）～ 2022年3月10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

**◆施設長を中心に職員間の話し合いにより共通認識を持って保育を行っています**

毎日行われる昼礼は、クラス毎に一人ひとり子どもの状況を伝え、「昼礼記録」に健康、けが（部位、場所）、送迎変更、活動内容（制作、散歩）などの項目に詳細を記入して職員間で情報を共有しています。また、職員会議、カリキュラム会議などで様々な情報を得て、子どもの状況を共有しています。情報共有することで職員は子どもたちの様子を把握し、保護者とのコミュニケーションを図っています。

園は、職員が発言する機会を多く作り、気軽に意見が言え、話しやすい雰囲気を作ること心掛けています。施設長は職員の意見の収集を心掛け、職員会議の前にすべての職員から意見を付箋に書いて提出してもらい、ここから必要な議題を提起して話し合っています。施設長は職員が自分の意見を表明し、反対の意見に対しても根拠や考えを聞く場をさらに積極的に作っていきたいと考えています。この取組や話しやすい環境を作ることによって小さな疑問や不安を相談し合い、助言や意見交換などから職員間で共通認識を持つことで、理念の実現に向けた保育ができるよう努めています。

**◆職員が講師をすることで充実した園内研修が実施されています**

法人は、階層別の求められるスキルに応じた様々な研修を実施しています。コロナ禍によりオンライン研修も多数実施されています。

毎月実施される園内研修は、「子どもの病気と怪我」「ベビーマッサージ」「子どもが喜ぶ環境設定」「キッズアンガーマネジメント」「リトミック」「手遊び」など、職員が自分の得意分野について講師となり説明しています。職員は、講師となることで得意分野をより深め、自信を持つ機会となっています。常勤職員、非常勤職員とも参加しやすいように、2回に分けて実施するなど、参加しやすい環境を作っています。また、各クラスリーダー及び月担当職員で「歌遊びミーティング」「集団遊びミーティング」を毎月実施していて、保育をより豊かにする取組も実施しています。施設長は、職員が学びから得たものを実践につなげる根拠として、自信をもってやっていける保育にしたいと考えています。

◇改善を求められる点

**◆地域交流活動を通して園の存在を知らせる取組が期待されます**

園は、育児講座、交流保育、園庭開放等の地域子育て支援プログラムを用意していましたが、コロナ禍で実施できませんでした。今年度、感染対策をして地域交流スペース（スタチャラウンジ）で「ベビーマッサージ」を実施しましたが、参加は1組でした。今後は、地域の関係機関・団体等と関係作りをしながら地域の具体的な福祉ニーズの把握につとめ、福祉ニーズ等に基づく活動を通して、地域に園の存在を知らせて行く取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度第三者評価を実施して下さるにあたり、丁寧に私共の保育、運営に関する事柄をヒアリングしていただきまして、ありがとうございました。

常に法人の理念、方針に基づいた運営が行えているか、保育士保育指針を熟考し保育を展開しているか、必要分野における法律を把握、理解し遵守できているか等「行っているつもり」ではなく、それぞれの立場（職員・保護者等）からの率直な意見、評価をいただくことができる機会となり、様々な分野において今後園を運営していくにあたり良い学び、課題を得ることができて大変良い経験となりました。

これを機会に、課題点は見直し、改善に努め更に良い園にしていけるように努力いたします。

この園で保育を実践していくにあたり、法人の指導、見守りがあり、保護者の方々からの理解、協力を頂き、同じ方向を向いて保育を行う保育職員、食を支える栄養士とそれぞれの思い、日々の研鑽、そして心身の健康があつての運営であることにいつも感謝しています。

今後も正しい心理的安全性のある職場を目指し職員一人ひとりが自己肯定感をもって知識を高め自信をもって職場で輝けるように、また保護者のニーズに耳を傾け必要なことは応え、安心してお子様を預けていただける園として努力を重ねていきたいと思ひます。コロナ禍ではありますが地域との連携も大切に運営していきたいと思ひます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり